

としょかんつうしん 図書館通信

9月号

令和 7年 9月

石川県立盲学校図書室

きょういくとしょぞうていしき 教育図書贈呈式

7月15日に日教弘石川支部さま

が来校され、校長先生や小学部の

先生が参加して贈呈式が行われ

ました。絵本や児童書などの24冊

が寄贈されました。ぜひご利用く

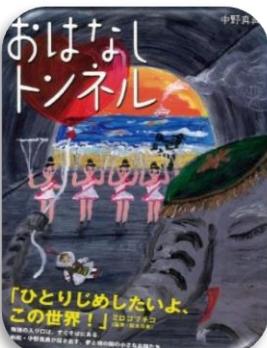
ださい。



ほんの紹介



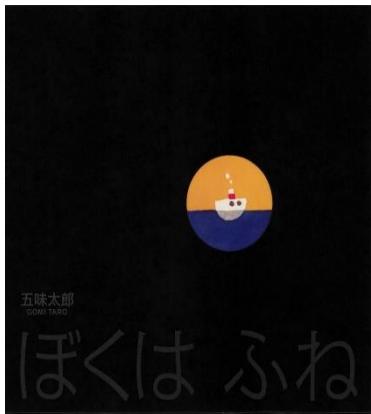
『なんのために生まれてきたの?』 やなせたかし(著)
大人気の史上最弱のヒーロー「アンパンマン」、童謡「手のひらを太陽に」の生みの親が作品誕生の経緯と戦争体験や下積み時代を乗り越えくじけずやってきた元気の理由を語る。



『おはなしトンネル』 中野真典(著)
雨の降る日。トンネルにただずむ男の子。電車の通り過ぎる音にまぎれて聞こえる、ラップの音。雨の日のトンネルで繰り広げられる、夢でも現でもない、ちいさなお話たち。

新刊の紹介

日本絵本賞大賞



『ぼくはふね』 五味太郎(著)

ふね うみ すす あらし じめん
ちいさな船が海を進んでいくと、嵐で地面に
のりあげてしまいます。地面の上で、もうどこ
へも行けないとなげく船に「その気になれば、
どこだって進めるものだよ」と他の船が声を
かけます。ちいさな船はその気になって、山や
はたけ まち なか ふね き まや
畠、街の中をどんどん進みます。



『理系脳をつくる食べられる実験』

すかん なかむらようこ ちよ
図鑑』 中村陽子(著)

かわ まる
むいていないのにうす皮がなくなる「丸ごと
さん ちから かつて わ
みかんゼリー」、酸の力で勝手に分かれる「い
ちごミルクプリン」などユニークで楽しい、お
かし げんせん しょうかい
菓子レシピを厳選してご紹介。



『自分に嫌われない生き方』

たにぐち 谷口たかひさ(著)

まんにん かんどう こく やく かい
22万人が感動！16か国で約2000回
こうえん せかい ほうもん ゆた
講演！世界を訪問してわかった「豊かに
い ひとびと かちかん
生きる人々の価値観」とは？
じ こ こうていかん あ
自己肯定感はどうすれば上がるのかー？



『パンどろぼうとりんごかめん』

しばた ちよ
柴田ケイコ(著)

にわとり一家がいとなむコッコ農園へ、パンをとどけにやってきたパンどろぼう。

「パンどろぼう」シリーズ待望の第6弾!

『小説』野崎まど(著)



五歳で読んだ『走れメロス』をきっかけに、主人公の人生は小説にささげられることになった。十二歳になると、主人公は生涯の友と出会い、二人は小説家が住んでいるというモジヤ屋敷に潜り込む。しかし、その屋敷にはある秘密があったー。

けいろう ひ 敬老の日

※9月の第3月曜日

どうして敬老の日があるの?

長年、社会や家庭のために働いてきたお年寄りは人生の大先輩です。そんなみなさまを敬い、元気で長生きしてほしいという気持ちを込めて敬老の日にお祝いするようになりました。今は9月の第3月曜日になっていますが、以前は9月15日でした。この日に聖徳太子が「非田院」という身寄りのないお年寄りや病人のための施設をつくったことから、「としよりの日」という記念日ができたのが始まりといわれています。

てんやくふれあい文庫(大阪市)から絵本が届きました

てんやく絵本は、市販の絵本に直接、手作業で点字の透明シートを貼り付けたものです。絵にも形に添ってシートが貼り付けてあります。

★学期ごとに絵本が変わるので、お楽しみに！★



『つきよのおくべぐらの
かい』 山下洋輔
(著)

満月を見ようと、こうちゃんが山に登ると、むこうからクマがピアノを担いでやってきて…。ウマのベース、ネコのドラム、イヌのサックス——楽しい音があふれてくる絵本。



あき ひがん
秋のお彼岸

※9月23日ごろ

あつ さむ ひがん
「暑さ寒さも彼岸まで」

ってどういうこと？

お彼岸の中日となる春分と秋分は、昼と夜の長さがほぼ同じになります。秋の場合、秋分以降は日が短くなっていき、太陽の出番がどんどん短くなるので暑さもやわらいでいきます。春はこの逆です。こうして厳しい暑さや寒さにめどがつく頃なので、「暑さ寒さも彼岸まで」といわれるようになりました。